

進路指導の羅針盤

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして在校生の皆さんは進級おめでとうございます。2010年に発行が始まった進路情報新聞「COMPASS」は、この4月で164号となり、16年目を迎えました。引き続きよろしくお願いいたします。

なお、本校ホームページから、PDF版が閲覧でき、保護者の皆様には安心してほしいとでもお知らせします。

今年度から編集スタッフの入れ替えもあり、さらに充実した進路情報を皆さんにお伝えしていきます。COMPASS編集部の新スタッフは次の通りです。

編集長: 進路指導主任
編集部員: 進路指導副主任(高2担任)
高3担当3名、高2担当1名、高1担任2名

以上の8名です。よろしくお願いいたします。

大学入試というのは、情報なしには戦えません。しかし、世の中には情報が溢れかえっています。この豊山高校進路指導部発行の進路情報新聞では、豊山生活の1年間でどのような進路行事が行われるか、大学入試のシステム(仕組み)がどのようになっているか、日大の付属推薦がどのようなスケジュールで行われるかなど、多岐にわたる情報が記載されています。この新聞は、皆さんの大学進学への羅針盤となっていくように、毎月興味のある内容をお送りします。

卒業生の進路状況

日本大学				他大学			
	総合型	推薦	一般		総合型	推薦	一般
法学部	一部	57	1	東京外国語大学		1	
	二部	6		千葉大学			1
文理学部		35		防衛大学校		2	
経済学部		65	1	早稲田大学	1		1
商学部		37		上智大学		6	
芸術学部		5		東京理科大学		13	3
国際関係学部				明治大学		3	7
危機管理学部		12		青山学院大学			1
スポーツ科学部		2		立教大学		1	5
理工学部		77	1	中央大学		1	7
生産工学部		20		法政大学		4	6
工学部		1		学習院大学		1	3
医学部				東洋大学		2	7
歯学部		1		駒澤大学		2	1
松戸歯学部		2		専修大学		1	5
生物資源科学部		26		成蹊大学			1
薬学部		3		成城大学			1
短期大学部	三島			明治学院大学	1	1	
	船橋	1		獨協大学		1	
医学部付属看護専門				國學院大学	1		2
通信教育部				その他の大学	10	28	28
小計	0	350	3	小計	13	67	79
進学者数		353		合格者数			159

※日本大学は進学者数、他大学は合格者数

令和6年度高3の進路状況が出ました。日本大学への進学状況としては例年と大きく変わりませんが、現役生の74.5%が進学していることから、依然として高い水準で進学できていることが分かります。他大学の合格者は、国立大学・大学校4名、早慶上理とGMARCHや関関同立においては64名の合格者数となりました。また、他大学全体では、昨年度の187名に対して159名という結果でした。

受験というものはそれまでの取り組みが結果として現われると言われますが、それは誰にも見えないものです。その見えない部分を先輩方は「努力」という形で地道に取り組んだことが分かります。右欄の先輩方のアドバイスをぜひ参考にしてください。

～合格体験記～

新高3のみなさん、進路決定の1年間が始まりました。この合格体験記では、この春に豊山を卒業し、4月から大学生として活躍する先輩方からのお話を紹介します。文系理系それぞれの特進コースで、大学受験を突破した先輩から貴重な心構えをいただくことができました。ぜひこれらを参考にして、自身の受験勉強に役立ててください。

◎文系特進生徒(早稲田大学 文化構想学部)◎

私は他大学受験を考えている君に、なぜ他大学受験をしたいのかを聞きたい。単に「高学歴になりたいから」というのは、表面的すぎるように聞こえる。本当に知りたいのは、「なぜ他大学にこだわるのか」という根本的なことだ。私は、日本大学も素晴らしい大学に思えるが、君が他大学にこだわる理由は何だろう。

私は、自分の将来の夢を叶えるために他大学受験を決意し、必死に勉強した。何度も不安に押し潰されそうになったが、自分の思い描く将来を想像すると、自然と前を向けた。君にも今一度、他大学受験をする理由を考えてもらいたい。明確な夢がなくてもいいが、大学に入ったその先の景色を想像してみたい。「この大学で、こんな授業を受けたい」「このキャンパスで、こんな大学生活を送りたい」と鮮明にイメージできたとき、君の中でその大学への愛着と覚悟が生まれ、それが受験生活を支える大きな力となる。「入れる」大学ではなく、「入りたい」大学を選ぶことが、大学受験において最も重要なことだと私は考える。自分自身で選り抜いたその決断が、大学受験を終えた後に揺るぎない意味を与えてくれる。

だが、大学受験は、想像以上に厳しい世界だ。第一志望に合格できる人はごくわずかで、多くの受験生が浪人する現実がある。君は今、そこに足を踏み入れようとしている。これから先の君の受験生活で、孤独や不安、焦りに苛まれることもあるかもしれないが、「もう勉強したくない」「他大学受験を諦めたい」と思った時にこそ、君が他大学を志望する「理由」が原動力となり、もう一度机に向かわせてくれるだろう。

大学受験は、「全国VS自分」の戦いだ。これからの人生で、これほど大きな規模で挑む勝負は、人生でそう多くはない。だからこそ、どうかこの貴重な時間を、義務感だけで過ごしてほしくない。自分と向き合い、時には自分を信じ抜きながら、この挑戦を前向きに楽しんでほしい。私は、そんな君の努力と勇気を心から応援している。



◎理系特進生徒(千葉大学 情報・データサイエンス学部)◎

私からは受験を通して学んだ想定外だったことを2つお伝えしたいと思います。

1つ目は、自分のメンタルが思った以上に弱かったことです。本命の大学の受験直前毎日のように不安な気持ちに悩まされました。試験前に不安で落ち着かなかったり、気持ちが落ち着いてきたと思うとすぐにまた不安が襲ってきたり、心が不安定でした。受験期が始まる前は気持ちを落ち着かせたまま受験に臨めるだろうと思っていた自分にとって思っていたよりも自分のメンタルが弱かったと感じました。

2つ目は、受験勉強で思ったよりも自分ができなかったことです。豊山高校では上位の成績を取っていましたが普段の定期テストと異なり、受験のための勉強においては解けない問題が多かったり、2日でこれくらいできるだろうと思っても実際はできなかったりと想像以上に大変でした。

これらの経験を通して、私は「受験勉強を始める前に思っていた以上に自分が弱かった」ということを感じました。これを読んでいる豊山生は1年間自分自身と向き合い続ける覚悟をしてください。



基礎学力到達度テスト

日本大学の付属推薦に利用する基礎学力到達度テスト(通称:基礎学力)が高1・高2は4月16日(水)に、高3は4月17日(木)に実施されます。高1の皆さんはいま現在、付属の中で自分がどのくらいの順位なのかを腕試しすることができるテストとなります。高2の皆さんにとっては国数英3教科の2割が決まる大切なテストとなります。高3の皆さんは3教科の4割(2年4月2割+3年4月2割)が決まります。しっかりと対策をして臨むようにしてください。

高1	国語	中学全範囲
	外国語(英語)	中学全範囲 (リスニングテストを含む)
	数学	中学全範囲
高2	国語	現代の国語、言語文化 ※近代以降の文章(論理的な文章、文学的な文章)及び古典(古文、漢文)とする。
	外国語(英語)	英語コミュニケーションⅠ (リスニングテストを含む)
	数学	数学Ⅰの全範囲、 数学A(図形の性質、場合の数と確率)
高3	国語	現代の国語、言語文化 ※近代以降の文章(論理的な文章、文学的な文章)及び古典(古文、漢文)とする。
	外国語(英語)	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ (リスニングテストを含む)
	数学	数学Ⅰの全範囲、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学Ⅱの全範囲は必須とし、数学B(数列、統計的な推測)、数C(ベクトル)の3単元から2単元を選択。 ※数学Ⅰ、Aの単独出題はしない。



高2 進路ガイダンス

新高2は、昨年度の文理選択に際して、多くのことを調べ、自身の将来に向けた選択をすることが出来たはずですが、高2の1年間は次年度の進路実現に向けての大切な準備期間となります。ここで手を抜くと周囲と差がつかせてしまいます。

1つ目は、『学力の準備』についてです。まずは目の前の基礎学力到達度テスト。高2の4月の基礎学力到達度テストで、国数英のそれぞれ100点満点中の20点を決定します。この20点を失敗すると、高3の4月の基礎学力到達度テストで同じ20点を取り返さなくてはなりません。反対に今回で成功すると大きなアドバンテージになります。また、次年度に向けて、授業は言うまでもなく、校外も含めた各種模試の活用を積極的にしていく必要があります。

2つ目は、昨年度からの継続ではありますが、『知識の準備』についてです。在籍コースによっては、次年度に向けた科目選択を行います。そして、一般受験を志す生徒は受験科目について考える機会が必要ですね。また、既に進路の方向性が決まった生徒も、視野を広げて、多角的に自身の考えを見つめなおす必要があります。それゆえ、日大学部説明会や社会人セミナーなどもしっかりと参加してください。

新学期で、改めて学年進路から話があると思います。まずは目の前の基礎学力到達度テストに向けて、いいスタートが切れるように準備をしてください。



高1 進路適性検査

高1の皆さん、改めてご入学おめでとうございます。突然ですが、高校では自身の進路について真剣に考えてもらいます。しかし、進路とはどういったものなのか？これは、ただひたすら受験勉強をして大学に進学する！ということの意味しているわけではありません。まずは、自身の夢・目標について明確にすることが大切です。その次に、それを達成するためにはどのような勉強・研究をしていかなければならないのかを考えていくことになります。つまり、高校卒業後に夢や目標を達成するための道に最も近づける進路を決定しなければなりません。その選択肢として大学進学がありますが、これだけではなく専門学校などへの進学や就職もあることでしょう。日本大学の付属校だからといって、どこかの学部・学科にはとらえず進学できるだろう・・・などの安易な考えはしてはいけません。その場合、進学しても後悔しかありません。

では、どのように考えていけばよいのでしょうか？大切なのは、①自分自身をよく知ること、②進路に関して多くの情報を得ること、③夢や目標に向かって努力することです。そこで、4月8日(火)の4時間目に職業・進路適正診断テストを実施します。これは、260問の質問に直感的に回答することで、6つに分類された職業の持つ適性要素の中で、自身の適性要素がどの分類にあたるのか、＜興味・関心のある職業例に含まれる適性要素＞と＜志向・行動に含まれる適性要素＞が一致しているか、ギャップがあるかということ客観的に知ることができます。さらに、＜興味・関心＞＜志向・行動＞＜分析からの総合診断＞の3つの結果から、自身の職業適性に含まれる職業要素を踏まえて様々な職業を調べることで、より興味・関心・職業観の幅を広げることも可能です。

しかし、このテストの結果が全てであるということはありません。適性と出なかつたからといって、その夢や目標を諦めることはしないでください。ですが、このテストをきっかけに進路というものを自分自身で真剣に考えてほしいと思います。この結果の活用方法に関しては、4月23日(水)の講演会を通じてアドバイスします。



4月の進路行事

- ・ 4月8日(火) 進路適性検査 (高1)
- ・ 4月15日(火) 基礎学力到達度テスト準備 (短縮40分授業) (中高)
- ・ 4月16日(水) 基礎学力到達度テスト (高1・2) (高3 家庭学習)
- ・ 4月17日(木) 基礎学力到達度テスト (高3) (高1・2 家庭学習)
- ・ 4月23日(水) 進路適性検査の振り返り (高1) 進路ガイダンス (高2)

月
日
日
直

4月は進路指導主任から各学年の生徒と保護者へ講演を行う予定です。内容は学年によって異なりますが、高1から高3の受験期にかけて何を行うべきか、何に注意をしなければいけないか等になります。受験の基礎から話していきますので、生徒のみなさんは筆記用具を用意して、しっかりと聞くようにしましょう。

4月16日(水)と17日(木)に実施される基礎学力到達度テストは、その後の付属推薦には受験必須の試験です。特に高1は未受験の場合は付属推薦の出願資格に影響しますので、絶対に受験をしてください。皆さんの将来を大きく左右するものになり、付属高校のメリットを活かす最も重要なものでもあります。高2と高3は直前講習もありますので、その中でしっかりと対策ができるようにしましょう。

特進クラスの生徒は、進学体育クラスとは異なり、河合塾の模試を年間を通して受験(必須)することになります。直近では5月4日(日)に高3対象の全校共通テスト模試があります。GW中ではありますが、受験学年として最初の大きな模試で、全国規模の数少ない機会です。7か月後の自分が受験生の中でどの位置にいるかを知るチャンスでもあります。必ず受験をするようにしてください。

次回5月号は、4月末に発行予定です